

令和7年度 珠洲市立大谷小中学校前期（I期）学力向上プラン

年間のゴールの姿

説得力UP！根拠を明らかにし、自分の考え方や思いを筋道立てて表現できる児童生徒

1 授業づくり

(1) 現状と課題（R）

児童生徒の課題	現状と要因・根拠となるデータ		
自分の考えを持つことができるが、根拠が乏しく説得力に欠ける。	<p>[現状と要因]</p> <p>○自分の考えを端的に分かりやすく説明することができるようになってきた。</p> <p>▲自分の考えの根拠が乏しく、説得力に欠ける。</p> <p>→児童生徒の考え方と根拠を結びつけるための問い合わせ返しや手立てが足りていない。</p> <p>[根拠となるデータ]</p> <p>○検証問題 6年算数 知りたい数量の大きさの求め方と答えを式や言葉を用いて記述できるかどうかを見る。100%</p> <p>8年国語 意見文にスマート農業の効果を加えるにあたって、他の資料からの引用を用いて記述する 100%</p> <p>▲検証問題 6年国語 資料を読み、何をヒントに、どのような仕組みの面ファスナーを作り出したのかをまとめて書く 50%</p> <p>8年数学 筋道を立てて考えたり振り返って考えたりする 0%</p>		

(2) 計画と実行（P・D）

具体的な取組	評価項目	評価
<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒が自分の考えのもととなる根拠や理由を明らかにするために、個で考える（自力解決）時間を十分に設定する。 児童生徒が課題や発問に対して論理的に考えたり、教師が児童生徒の不足している考えに効果的な問い合わせをしたりするために、三角ロジックを活用する。 	<p>ノート検証 「自分の考えのもととなる根拠や理由が書かれている」80% 教員アンケート 「自力解決の時間を十分に設定している」 A評価 100% 児童生徒アンケート 「課題や発問に対して論理的に考え、説得力のある説明をしている」80% 研究授業参加者検証 「課題や発問に対して論理的に考え、説得力のある説明をしている」70%</p>	

(3) 検証と改善（C・A）

月	評価方法（誰が、いつ）	結果	取組の成果○・課題▲
4	児童生徒アンケート（宮原教諭、月末） 教員アンケート（宮原教諭、月末） ノート検証（全教諭、月末） 全国学力調査、県基礎学力調査（井関教諭）		
5	ノート検証（全教諭、月末） 小町教諭 研究授業 検証問題（全教諭、月末）		
6	ノート検証（全教諭、月末） 宮原教諭 研究授業 互見授業月間		
7	児童生徒アンケート（宮原教諭、月末） 教員アンケート（宮原教諭、月末） 検証問題（全教諭、月末）		

取組の成果○・課題▲

2 基盤づくり

目標	具体的な取組	評価
・児童生徒と教師、児童生徒同士で受容的な聞き方や話し方を身に付ける。	・「聞き方名人」の指標を5までクリアしている。 →児童生徒アンケート 90%以上	